

事例⑧ 惣新田地区（2期）

事業区域の農地面積 : 26.3ha
農地バンクを活用した面積 : 9.8ha (37.2%)

地域内の多くの農地を担い手農家が耕作しており、当該事業にて農地バンクを活用することで自作農家が耕作を継続できなくなった場合にスムーズに担い手農家へ耕作を引き継げる体制の整備を実施しました。

なお、現在の担い手農家の高齢化や後継者の不在が懸念されているが新規就農者の参入も進んでいるため、地域全体として受け皿が確保できており、今後の農地の集積・集約化に期待ができます。

また、地域内の農地バンク利用率は高いとは言えないが耕作者が地権者に対し農地バンクの利用を推進しており、今後は利用率が向上していく見込となっています。

